

平成 27 年度

事 業 報 告 書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

1 事業活動方針

障がい者の積極的なスポーツ活動を通じて、その心身の健康増進、機能回復を図り、もって障がい者の社会参加を促進した。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、大会開催後のオリンピック・パラリンピックレガシーとして、夢を叶え目標を達成した選手・役員らが本県の障がい者スポーツを牽引し、障がい者が地域においてさまざまなスポーツ体験や活動ができる環境が、本県のスポーツ文化として恒久的に遺るために必要なさまざまな角度からアプローチを行い、関係団体と連携しながら選手の発掘・育成・強化を行うとともに、障がい者スポーツの裾野拡大を図った。

2 事業内容（概要）

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

障がい者が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境の整備や、全国障害者スポーツ大会の出場等を通して、障がい者の社会参加の促進を図った。

- ①障がい者スポーツ事業を展開している団体への支援 14件
- ②福島県障がい者総合体育大会の開催
期日：平成27年5月17日（日） 参加者：12競技1,666人
- ③全国障害者スポーツ大会北海道東北地区予選の開催支援 2件
- ④全国障害者スポーツ大会選手団の派遣
期日：平成27年10月22日（木）～27日（火）
派遣人数：59名（選手35名、役員24名）
- ⑤全国障害者スポーツ大会北海道・東北地区予選出場に対する助成 3件

(2) 障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者が安心してスポーツに取り組める環境を整備するため、障害者スポーツ指導員の指導技術を高めるとともに、事業の企画・運営など地域の特色に合わせたマネジメントができる指導員の育成を図った。

- ①初級指導者養成講習会の開催
実施日：平成27年7月18日（土）～7月20日（月） 受講生：11名
- ②障がい者スポーツ指導員の講習会等への派遣 5名
- ③福島県障がい者スポーツ指導者協議会の運営支援

(3) 障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、継続してスポーツをする環境の整備を図った。

- ①福島県障がい者陸上競技協会への助成

(4) 障がい者スポーツ選手の競技力の向上

東京パラリンピックに向けた本県選手の発掘・育成・強化を行うとともに、競技指導者・競技団体への支援を行った。

「ふくしまから世界へ！ふくしま夢アスリート育成支援事業」

- ①国際大会等出場者への助成 3名
- ②全国スポーツ競技会等出場への助成 13団体 135名
- ③運動導入教室の開催 毎週木曜日 51回 138名
- ④種目別教室の開催 14種目 86回 739名
- ⑤国際障がい者アスリート・指導者育成のための英会話講習 26回 延べ48名
- ⑥県内各障がい者スポーツ大会への支援 11件

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

協会広報紙を発行し広く情報を発信するとともに、ホームページ等を活用し、広く情報提供等を行った。

- ①協会広報紙の発行 2回（平成27年9月、平成28年3月）発行部数3,000部/回
- ②賛助会員会費納入者数 延べ 個人146人、団体63団体

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国等のスポーツ推進に関わる会議等に参加し情報収集を行った。

- ①会議等への出席 3回
- ②日本障がい者スポーツ学会への参加 1回

(7) チャレンジド・スポーツ支援

企業の障がい者スポーツ支援事業へ協力した。

- ①東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクトへの協力

3 事業内容（詳細）

[公益事業] (1)障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

事業名	団体別教室開催事業	決算額	421,424 円
目的	<p>県内の障がい者団体等が、地域において主体的に開催する社会参加と自立、日常生活の充実を促すスポーツをとおして交流が深まる事業について助成する。</p>		
内容	<p>○事業概要 本県障がい者スポーツの推進に寄与している、障がい者を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成する。</p> <p>○平成 27 年度実績</p> <p>① 障がい者スポーツ指導者協議会各支部への助成 助成先：4 支部（県北、県中、会津・県南、いわき） 助成額：200,000 円（50,000 円×4 支部）</p> <p>② 県内障がい者競技団体、障がい者福祉団体への助成 助成先：10 団体 助成額：200,000 円（20,000 円×10 団体）</p>		
参考			

事業名	福島県障がい者総合体育大会の開催	決算額	2,923,682 円																																							
目的	<p>障がい者が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加意識と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がい者に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>なお、本大会は、第15回全国障害者スポーツ大会（和歌山県）個人競技の予選を兼ねるものとする。</p> <p>ただし、全国大会派遣種目、選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>																																									
内容	<p>○大会概要</p> <p>期日：平成27年5月17日（日）</p> <p>種目・会場：12競技・会場は下記のとおり</p> <table border="1" data-bbox="422 790 1350 1518"> <thead> <tr> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>開成山陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>田村市陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>郡山市西部体育館</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>郡山市障害者福祉センター訓練室</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>会津若松白龍山泰雲寺</td> </tr> <tr> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>郡山市喜久田スポーツ広場</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>郡山総合体育館</td> </tr> <tr> <td>車椅子バスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>郡山総合体育館</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>身体・精神</td> <td>郡山市障害者福祉センター体育室</td> </tr> <tr> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>本宮市市民プール</td> </tr> <tr> <td>グランドソフトボール競技</td> <td>身体</td> <td>郡山市ふるさとの森スポーツパーク</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>福島県立郡山養護学校</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者：選手 1,666 人、大会・競技役員 379 人、補助員 350 人</p> <p>○会議</p> <p>平成27年4月20日 第53回大会 第2回運営委員会</p> <p>平成28年1月28日 第54回大会 第1回運営委員会</p>			競技種目	障がい種別	会場	陸上競技	身体・知的・精神	開成山陸上競技場	フライングディスク競技	身体・知的・精神	田村市陸上競技場	卓球競技	身体・知的・精神	郡山市西部体育館	サウンドテーブルテニス競技	身体	郡山市障害者福祉センター訓練室	アーチェリー競技	身体	会津若松白龍山泰雲寺	サッカー競技	知的	郡山市喜久田スポーツ広場	バスケットボール競技	知的	郡山総合体育館	車椅子バスケットボール競技	身体	郡山総合体育館	バレーボール競技	身体・精神	郡山市障害者福祉センター体育室	水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール	グランドソフトボール競技	身体	郡山市ふるさとの森スポーツパーク	ボッチャ競技	身体	福島県立郡山養護学校
競技種目	障がい種別	会場																																								
陸上競技	身体・知的・精神	開成山陸上競技場																																								
フライングディスク競技	身体・知的・精神	田村市陸上競技場																																								
卓球競技	身体・知的・精神	郡山市西部体育館																																								
サウンドテーブルテニス競技	身体	郡山市障害者福祉センター訓練室																																								
アーチェリー競技	身体	会津若松白龍山泰雲寺																																								
サッカー競技	知的	郡山市喜久田スポーツ広場																																								
バスケットボール競技	知的	郡山総合体育館																																								
車椅子バスケットボール競技	身体	郡山総合体育館																																								
バレーボール競技	身体・精神	郡山市障害者福祉センター体育室																																								
水泳競技	身体・知的・精神	本宮市市民プール																																								
グランドソフトボール競技	身体	郡山市ふるさとの森スポーツパーク																																								
ボッチャ競技	身体	福島県立郡山養護学校																																								
参考																																										

事業名	全国障害者スポーツ大会北海道東北 地区予選開催事業（2015 紀の国わか やま）	決算額	1,341,609 円
目 的	<p>2015 紀の国わかやま大会北海道東北地区における団体競技の予選（東北・北海道持ち回り開催）を開催する。</p> <p>平成 27 年度は、知的障がい者サッカー競技、車椅子バスケットボール競技が本県開催。</p>		
内 容	<p>①知的障がい者サッカー競技（353,185 円） 期日：平成 27 年 6 月 20 日（土）、21 日（日） 会場：福島市十六沼運動公園サッカー競技場 出場：札幌市、岩手県、宮城県、仙台市、秋田県、福島県</p> <p>②車椅子バスケットボール競技（988,424 円） 期日：平成 27 年 6 月 20 日（土）、21 日（日） 会場：あづま総合体育館 出場：北海道、青森県、岩手県、仙台市、秋田県、福島県</p>		
参 考			

事業名	全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業（2015 紀の国わかやま大会）	決算額	7,634,635 円
目 的	福島県障がい者総合体育大会に出場した選手のうち、選手選考会議を経て本県代表選手について派遣する。		
内 容	<p>○全国障害者スポーツ大会（2015 紀の国わかやま大会）への選手団派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間：平成 27 年 10 月 22 日（木）結団式 23 日（金）公式練習 24 日（土）開会式 25 日（日）2 日目 26 日（月）閉会式 27 日（火）帰県（解団式） ・派遣人数：選手 35 名、役員 24 名 ・大会規模：参加選手 3,239 名、役員 2,264 名 ・出場競技 個人競技 6 競技 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、卓球（身・知）（サウンドテーブルテニス（身）を含む）、フライングディスク（身・知）、ボウリング（知） <p>※団体競技は出場なし。</p> <p>○「全国障害者スポーツ大会 2015 紀の国わかやま大会」選手選考会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催：福島県 ・期日：平成 27 年 6 月 2 日（火） 		
参 考			

事業名	全国障害者スポーツ大会紀の国わかやま大会北海道東北地区予選会出場助成事業	決算額	273,620 円
目的	本県以外で開催される全国障害者スポーツ大会紀の国わかやま大会北海道東北地区予選会に福島県代表として出場する団体に対し、予算の範囲内で交通費、宿泊費、参加費を助成する。		
内 容	<p>○助成先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グランドソフトボール競技 実施日：平成 27 年 6 月 13 日（土）～14 日（日） 会場：岩手県営運動公園サッカー・ラグビー場 結果：1 回戦敗退 助成額：110,000 円 ・ 知的障がい者サッカー競技 実施日：平成 27 年 6 月 20 日（土）～21 日（日） 会場：十六沼公園サッカー場 結果：5 位 助成額：80,000 円 ・ 車椅子バスケットボール競技 実施日：平成 27 年 6 月 20 日（土）～21 日（日） 会場：あづま総合体育館 メインアリーナ 結果：2 位 助成額：80,000 円 		
参 考	<p>[出場経歴]（全国障害者スポーツ大会）</p> <ul style="list-style-type: none"> 車椅子バスケットボール（なし） バスケットボール競技(第 1 回宮城大会) サッカー競技（なし） グランドソフトボール競技（第 9 回新潟大会） ソフトボール競技（なし） 聴覚障がいバレーボール競技（第 11 回山口大会） 精神障がいバレーボール競技（第 1 回宮城大会公開競技） 		

[公益事業] (2)障がい者スポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	初級指導者養成講習会開催事業	決算額	380,000 円
目的	<p>県として障がい者スポーツ指導者を養成し、県内の各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与することを目的とし、福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会を実施する。</p>		
内容	<p>○平成 27 年度福島県障がい者スポーツ指導者養成講習会の開催 実施日：平成 27 年 7 月 18 日（土）～7 月 20 日（月） 会場：あづま総合体育館 会議室、研修室、サブアリーナ 受講生：11 名 共催：福島県教育委員会、福島県障害者スポーツ指導者協議会 後援：（公財）福島県体育協会、（公財）日本障がい者スポーツ協会</p> <p>※ 障害者スポーツ指導者の役割 この講習会において、全課程を修了し、公認指導者登録を取得した方は、公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会（以下「スポーツ協会」という。）の附属機関である福島県障害者スポーツ指導者協議会（以下「指導者協議会」という。）に登録される。 資格取得後は、自ら障がい者スポーツの振興に努めるとともに、障がい者スポーツの振興を図るため、各種スポーツ活動に協力し、本県の障がい者スポーツの普及と振興にあたる。初級指導者は、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを伝え、スポーツをとおしての社会復帰・参加・自立への手助けをする。 また、障がいの基本内容を理解し、障がいをお持ちの方へのスポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践にあたっては、健康や安全管理を重視した指導ができるよう、指導者としての活躍が期待できる方を育成する。</p>		
参考	<p>※福島県スポーツ推進基本計画で、障がい者スポーツ指導員の増員を提唱している。また、教育関係者が受講しやすいうように教育委員会に共催していただいている。</p>		

事業名	障がい者スポーツ指導員育成支援事業	決算額	800,737 円
目的	<p>上級資格取得、専門資格取得講習会に派遣し、専門指導の知識を高め、指導者に対する指導ができる人材の育成を促し、安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導者を養成する。</p> <p>また、障がい者スポーツ指導員の資質向上講習会、ボランティア講習会を行い、地域、専門競技団体において障がい者スポーツに取り組む機会となる初期の運動導入を学ぶ講習会を実施する。</p> <p>障がい者スポーツ指導員が自ら企画・運営をし、企画、運営のマネジメント力を高めながら障がい者スポーツの導入の重要性に対する理解を深める。</p>		
内容	<p>○講習会等への派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中級障がい者スポーツ指導員養成講習会 開催日：(前期)平成27年7月24日(金)～28日(火) (後期)平成28年1月20日(水)～24日(日) 会場：元気フィールド仙台、幸町ウェルフェア温水プール(宮城県) 派遣人数：2名 ・障がい者スポーツトレーナー養成講習会 開催日：平成28年1月29日(金)～31日(日) 会場：障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール(神奈川県) 派遣人数：1名 ・川村義肢シーティング研修会 開催日：平成27年4月18日(土) 会場：川村義肢製作所(大阪府) 派遣人数：2名 <p>○障がい児・者に対する運動導入指導実践講習会の実施</p> <p>期日：平成27年9月19日(土)～20日(日)</p> <p>会場：国立大学法人福島大学 第二体育館</p> <p>受講者数：延べ24名</p> <p>講師：ケルン大学元教授 ホルスト・ストローケンデル博士</p> <p>内容：本県の障害者スポーツ指導者が、県内の障害者スポーツを振興するために自らが企画・運営等のマネジメントを行うための講習会を開催。</p>		
参考			

事業名	福島県障害者スポーツ指導者協議会 運営事業	決算額	300,432 円
目 的	<p>当協会の内部組織である「福島県障害者スポーツ指導者協議会（専門部による指導者への指導、支部（3支部6地区）」による地域スポーツの振興、競技部による専門競技団体との連携、専門指導力及び当事者の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するために、福島県障害者スポーツ指導者協議会の運営を支援する。</p>		
内 容	<p>○福島県障害者スポーツ指導者協議会総会 開催日：平成 27 年 4 月 19 日（日） 会 場：猪苗代町体験交流館学びいな</p> <p>○役員会の開催 2 か月に一度の役員会を開催し、各部の進捗状況確認と指導を実施</p> <p>○各部会（各部運営委員会）の開催 3 か月に一度、各部会の開催</p> <p>○地区スポーツ教室・大会開催・講習会の開催支援 地元自治体等と連携し、障がい者が地域においてスポーツに親しむ環境づくりを推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県北相双支部（17 回） 県北地区・・・教室：二本松市岳体育館、あづま総合体育館等（10 回） 大会：チャレンジカップ 2 0 1 5（1 回） 相双地区・・・教室：相双地区管内体育館及び福祉施設等（6 回） ・ 県中いわき支部（24 回） 県中地区・・・教室：郡山市障がい者福祉センター等（12 回） 大会：県中エンジョイスポーツフェスティバル（1 回） いわき地区・・・教室：いわきサンアビリティーズ等（12 回） 大会：いわきスポーツフェスティバル（1 回） ・ 会津県南支部（26 回） 会津地区・・・教室：会津若松ふれあい体育館等（13 回） 大会：会津障がい者スポーツ大会（1 回） 県南地区・・・教室：西郷村太陽の国体育館（12 回） 		
参 考			

[公益事業] (3)障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	選手指導者組織育成支援事業	決算額	905,540 円
目的	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者の各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。</p> <p>また、専門競技の障がい者スポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p>○助成金の交付</p> <p>対象団体：福島県障がい者陸上競技協会</p> <p>助成額：900,000 円</p> <p>内容：福島県障がい者陸上競技協会における国内競技大会等助成補助、国内競技大会等への派遣員助成補助、備品購入（大会等の記録保存・練習用具）</p>		
参考	<p>過去の支援実績</p> <ul style="list-style-type: none"> *平成 8 年 知的障害者バスケットボール普及 *平成 8 年 フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 *平成 9 年 冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） *平成 12 年 福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 *平成 16 年 車椅子バスケットボール日本代表育成 *平成 21 年 福島県障がい者陸上競技協会再編支援 *平成 23 年～福島県障がい者アーチェリークラブ支援 *平成 25 年～水泳選手育成支援 		

[公益事業] (4) 障がい者スポーツ選手の競技力向上 (2020 プラン)

事業名	各種助成事業	決算額	521,678 円
目 的	<p>パラリンピック、デフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈する。</p> <p>競技力向上を目指す選手・役員や、全国大会等に出場する選手に対して助成をし、財政的支援を行う。</p>		
内 容	<p>○国際大会等出場助成事業</p> <p>国際大会に出場する選手に対して、激励金を支給した。</p> <p>大会名 ソウル IBSA ワールドゲームス</p> <p>出場者 陸上 100m 佐藤 智美</p> <p>陸上 200m、400m 佐々木真菜</p> <p>柔道 48kg 級 半谷 静香</p> <p>助成額 90,000 円 (30,000 円×3名)</p> <p>○全国スポーツ競技会等出場助成事業</p> <p>各競技種目の全国大会及び東北大会に出場する選手 (団体競技含む) 役員に対し、経費の一部を助成した。</p> <p>団体数 13 件</p> <p>対象者数 135 名</p> <p>助成額 426,000 円</p>		
参 考			

事業名	運動導入教室開催事業	決算額	648,832 円
目 的	<p>2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定の盛り上がりを見せるこの機会に、障がい児には遊びをとおして身体を動かすことの喜びを、在宅障がい者には積極的なスポーツ活動をとおして社会参加・自立・復帰の促進を図る。また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックへ向けたジュニア（キッズ）選手を発掘するとともに障がい者スポーツの裾野拡大を図る。</p>		
内 容	<p>実施期日：平成 27 年 4 月 2 日（木）～平成 28 年 3 月 31 日（木） 毎週木曜日実施 実施回数：51 回 実施場所：郡山市障害者福祉センター いわきサンアビリティーズ（第 3 木曜日に指導員 1 名をいわきに派遣） 参加者数：延べ 138 名 指 導 員：理学療法士 2 名（障がい者スポーツ指導員有資格者） 整形外科医 1 名（障がい者スポーツ医有資格者） 補装具アドバイザー 1 名（障がい者スポーツ指導員有資格者） 自動車整備士 1 名（障がい者スポーツ指導員・福祉自動車整備士有資格者）</p>		
参 考			

事業名	種目別教室開催事業	決算額	3,816,152 円
目的	<p>パラリンピックや全国障害者スポーツ大会（公開競技含）などの種目競技において、選手の育成・強化と普及・拡大を一本化するスポーツ教室を開催し、夏季冬季パラリンピック（2020－2028年）、スペシャルオリンピックス、各競技日本選手権大会などに出場できる選手の競技力を向上するとともに、スポーツを習慣とする愛好者の拡大を図る。</p>		
内容	<p>○実施種目</p> <p>陸上競技（全9回 参加者数 延べ121名）</p> <p>フライングディスク競技（全8回 参加者数 延べ53名）</p> <p>ボッチャ（全9回 参加者数 延べ130名）</p> <p>車椅子バスケットボール（全8回 参加者数 延べ77名）</p> <p>バスケットボール（全8回 参加者数 延べ153名）</p> <p>卓球（全8回 参加者数 延べ49名）</p> <p>サッカー（全8回 参加者数 延べ24名）</p> <p>グランドソフトボール（全6回 参加者数 延べ67名）</p> <p>アーチェリー（全5回 参加者数 延べ8名）</p> <p>ゴルフ（全4回 参加者数 延べ8名）</p> <p>サウンドテーブルテニス（全4回 参加者数 延べ12名）</p> <p>水泳（全4回 参加者数 延べ10名）</p> <p>バドミントン（全3回 参加者数 延べ16名）</p> <p>ハンドバイク（全2回 参加者数 延べ11名）</p>		
参考			

事業名	国際障がい者アスリート支援事業	決算額	1,446,269 円
目的	国際的に活躍する障がい者アスリート、障がい者スポーツ指導者（コーチ）及びボランティアの増加及び資質向上を図る。特に国際舞台で活躍できる人材を育成する。		
内容	<p>各競技の強化選手及び指導者、障がい者スポーツシーン英会話レッスン講習会を開催した。</p> <p>実施期日：平成 27 年 12 月 7 日（月）～平成 28 年 3 月 24 日（木）</p> <p>実施回数：26 回</p> <p>受講生数：延べ 48 名</p> <p>（会場ごとの実施状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島会場 全 8 回 受講生数 延べ 21 名 ・白河会場 全 7 回 受講生数 延べ 11 名 ・郡山会場 全 7 回 受講生数 延べ 7 名 ・いわき会場 全 4 回 受講生数 延べ 8 名 		
参考			

事業名	各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	799,676 円
目 的	<p>各競技のスポーツ教室、練習会等に参加した選手が、練習の成果を発揮するために上位大会を目標とすることで、競技力向上と継続の意欲を高める。</p> <p>また、障がい者スポーツへの理解・関心の拡大を図るため、競技活動の広報に努め、障がい者スポーツの普及・振興と裾野拡大を促進する。</p>		
内 容	<p>○事業概要</p> <p>県内で開催される各競技種目の大会に対して助成を行う。</p> <p>障がい者スポーツ団体が財政的に苦しいなかで開催している大会を支援することで、県内で競技会に参加できる機会の確保を行う。</p> <p>○対象競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道東北障がい者陸上競技選手権大会 ・福島県障がい者フライングディスク大会 ・福島県ボッチャ選手権大会 ・福島県障がい者卓球大会 ・福島県障がい者スキー大会 ・SFIDA-CUP ・レッドブルズ杯 ・FUKUSHIMA レディースカップ ・福島県ろうあ者球技大会 ・ふくしまシッティングバレーボール大会 ・Fukushima ハンドバイク競技会 <p>○助成額：700,000 円</p>		
参 考			

[公益事業] (5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	協会広報紙の発行	決算額	599,914 円
目的	賛助会員に対して、協会広報紙を発行し、情報提供を行う。		
内容	<p>○広報紙の発行 年 2 回広報紙を発行した。 平成 27 年 9 月「福島県障がい者スポーツ協会だより 第 34 号」発行 平成 28 年 3 月「福島県障がい者スポーツ協会だより 第 35 号」発行</p> <p>○発行部数 3,000 部/回</p>		
参考			

[公益事業] (6)障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究	決算額	102,754 円
目的	<p>各種会議、講習会等に出席し、最新の情報をもとに、安心安全なスポーツ環境の提供を図る。</p> <p>また、前例のない競技者に対し、補装具・競技用具の専門技術者と共同研究し、日本障がい者スポーツ学会等で発表することで、重度障がい者スポーツの活路を見いだすことを目的とする。</p>		
内容	<p>○会議等への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度障がい者スポーツ協会・指導者協議会合同会議 開催日：平成 28 年 3 月 3 日（木） 会 場：ヒルトン東京お台場 出席者：（公財）福島県障がい者スポーツ協会職員 2 名 ・障がい者スポーツ info2016 開催日：平成 28 年 3 月 4 日（金） 会 場：ヒルトン東京お台場 出席者：（公財）福島県障がい者スポーツ協会職員 2 名 ※当協会増子書記がパネリストとして参加。 ・東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会 開催日：平成 28 年 3 月 12 日（土） 会 場 仙台市宮城野体育館 会議室 出席者：福島県障がい者スポーツ指導者協議会 副会長 二階堂俊介 ・第 25 回日本障害者スポーツ学会 in 新潟 開催日：平成 28 年 3 月 26 日（土）～27 日（日） 会 場：新潟ふれ愛プラザ 出席者：日本障害者スポーツ協会公認障がい者スポーツトレーナー 要田 忠継 		
参考			

[公益事業] (7)チャレンジド・スポーツ支援

事業名	チャレンジド・スポーツ支援事業	決算額	527,880 円
目的	東日本大震災復興支援事業等で、企業からの障がい者スポーツ支援事業について協力する。		
内容	<p>○ 東日本大震災復興支援 東北サンさんプロジェクト</p> <p>ア 個人、団体奨励金 チャレンジド・アスリート奨励金 個人：本県20名へ助成 団体：本県6団体へ助成</p> <p>イ チャレンジド・アスリートビジット（学校訪問活動）開催協力 障がい者、児童・生徒らと障がい者スポーツの体験をとおり、障がいに対し理解を深めながら、体験を実施した。 実施校数：4校（小学校 2校、中学校 2校） 参加者数：286名（小学生 132名、中学生 154名） 実施競技：車椅子バスケットボール体験</p> <p>ウ チャレンジド・スポーツアカデミー（チャレンジド・スポーツ体験教室 in 福島） 実業団、プロチーム、障がい者スポーツクラブ、一般と交流を深めるイベントを開催し、交流を深めながら障がいに対する理解促進を図った。 実施日：平成27年6月7日（日） 場所：あづま総合体育館 参加者：約300名（小学生と保護者） 内容：車椅子バスケットボール体験、スペシャルマッチ観戦、 スペシャルトークショーイベント</p> <p>エ チャレンジド・スポーツ育成サポート ・日常車椅子10台を受贈 ・会津若松ふれあい体育館の入口にスロープ設置、車椅子トイレ設置</p>		
参考			

[法人会計] 協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	737,215 円
目的	<p>協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費ほか、行政財産使用料、インターネット管理費及びプロバイダー契約料などの使用賃借料。</p> <p>法人会計に係る公認会計士、法人運営に関わるアドバイザーの派遣費用等を確認し、安定した法人運営を目指す。</p>		
内容	<p>○会議の開催</p> <p>理事会・・・第1回理事会 平成27年6月26日(金) 「平成26年度事業報告・収支決算について 外」</p> <p>第2回理事会 平成28年3月18日(金) 「平成28年度事業計画・収支予算について 外」</p> <p>評議員会・・・定時評議員会 平成27年6月30日(火) 「平成26年度事業報告・収支決算について 外」</p> <p>臨時評議員会 平成28年3月24日(木) 「平成28年度事業計画・収支予算について 外」</p> <p>定期監査・・・定期監査 平成27年6月22日(月) 「平成26年度事業実績・収支決算について」</p> <p>○ その他 当協会の運営に関わる経費を支出</p>		
参考			